

上場会社名 任天堂株式会社

上場取引所

東

コード番号 7974

URL <https://www.nintendo.com/jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）古川 俊太郎

問合せ先責任者（役職名）経営統括本部長（氏名）三宅 浩二 (TEL) 075-662-9600

半期報告書提出予定日 2024年11月8日

配当支払開始予定日 2024年12月2日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	523,299	△34.3	121,513	△56.6	147,100	△61.3	108,658	△59.9
2024年3月期中間期	796,237	21.2	279,910	27.0	380,007	17.8	271,298	17.7

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 86,933百万円(△74.8%) 2024年3月期中間期 344,374百万円(6.0%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	93.33	—
2024年3月期中間期	233.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	3,071,364	2,539,337	82.6
2024年3月期	3,151,394	2,604,998	82.6

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 2,538,253百万円 2024年3月期 2,603,761百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	80.00	—	131.00	211.00
2025年3月期	—	35.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	94.00	129.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※詳細については、本日（2024年11月5日）公表しました「剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想に関するお知らせ」を併せてご覧ください。

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,280,000	△23.4	360,000	△31.9	420,000	△38.3	300,000	△38.9
								257.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※詳細については、本日（2024年11月5日）公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」を併せてご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	1,298,690,000株	2024年3月期	1,298,690,000株
2025年3月期中間期	134,441,692株	2024年3月期	134,451,510株
2025年3月期中間期	1,164,242,059株	2024年3月期中間期	1,164,232,981株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、為替レートの変動や、その他市場環境の変化などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績および配当金を含みますが、これらに限りません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想に関する説明	P. 2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 中間連結貸借対照表	P. 3
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 4
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 6

1. 経営成績等の概況

(1) 連結経営成績に関する説明

当中間期(2024年4月～9月)のNintendo Switchビジネスは、5月に発売した『ペーパーマリオRPG』が194万本、6月に発売した『ルイージマンション2 HD』が157万本の販売となったほか、9月に発売した『ゼルダの伝説 知恵のかけもの』が258万本の販売を記録し、順調な滑り出しとなりました。また、『マリオカート8 デラックス』が231万本(累計販売本数6,427万本)の販売を記録するなど、前期以前に発売したタイトルも安定した販売状況が続いています。

これらの結果、当期のミリオンセラータイトルはソフトメーカー様のタイトルも含めて9タイトル、ハードウェアの販売台数は472万台、ソフトウェアの販売本数は7,028万本となりました。前中間期は『ゼルダの伝説 ティアーズオブザキングダム』(2023年5月発売)がハードウェア、ソフトウェアの販売を大きく牽引していたため、前年同期比ではハードウェアは31.0%減、ソフトウェアは27.6%減となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスにおいても、主にNintendo Switchのパッケージ併売ダウンロードソフトの売上が減少したことにより、デジタル売上高は1,599億円(前年同期比26.5%減)となりました。

モバイル・IP関連収入等については、前年同期は『ザ・スーパーマリオブラザーズ・ムービー』(2023年4月公開)を多くのお客様にご鑑賞いただいた結果、売上高が大きく増加していました。当期は映画関連の売上が減少したことにより、売上高は312億円(前年同期比43.3%減)となりました。

これらの状況により、売上高は5,232億円(うち、海外売上高3,910億円、海外売上高比率74.7%)、営業利益は1,215億円となりました。また、為替差損が224億円発生したものの、受取利息が308億円発生したことなどにより、経常利益は1,471億円、親会社株主に帰属する中間純利益は1,086億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当中間期末における総資産は主に棚卸資産が増加したものの、現金及び預金や有価証券などが減少したことにより、前期末に比べ800億円減少し、3兆713億円となりました。負債は主に支払手形及び買掛金が増加したものの、未払法人税等や流動負債のその他などが減少したことにより、前期末に比べ143億円減少し、5,320億円となりました。純資産は主に利益剰余金や為替換算調整勘定などが減少したことにより、前期末に比べ656億円減少し、2兆5,393億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する説明

当中間期までのNintendo Switchハードウェアおよびソフトウェアの販売状況はともに期初の想定を下回る結果となったものの、Nintendo Switchは発売から8年目に入っても多くのお客様に遊んでいただいています。引き続きハードウェアでは、Nintendo Switchの魅力をお伝えし続けることで、「一家に一台」から「一家に複数台」、さらには「一人に一台」の普及を目指します。また、より多くのお客様に、より長くNintendo Switchを遊んでいただけるように、継続してユニークな提案を行い、販売の最大化を目指します。ソフトウェアでは、10月に発売した『スーパーマリオパーティ ジャンボリー』に加えて、『マリオ&ルイージRPG ブラザーシップ!』(11月)、『ドンキーコング リターンズ HD』(2025年1月)などの発売を予定しています。また、ソフトメーカー様からもバラエティに富んだタイトルの発売が予定されており、発売済みのタイトルに加えて新規タイトルなどを継続的に投入することで、プラットフォームの活性化に努めます。

なお、当中間期までの販売状況を反映し、Nintendo Switchハードウェアおよびソフトウェアの年間販売予想数量を見直すとともに、2024年5月7日公表の業績予想を修正しました。詳細については、本日(2024年11月5日)公表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,484,350	1,337,234
受取手形及び売掛金	93,608	108,530
有価証券	768,355	679,139
棚卸資産	155,987	264,155
その他	71,092	66,969
貸倒引当金	△91	△122
流動資産合計	2,573,302	2,455,907
固定資産		
有形固定資産	108,518	110,978
無形固定資産	16,405	22,520
投資その他の資産		
投資有価証券	290,620	323,280
その他	162,547	158,677
投資その他の資産合計	453,168	481,957
固定資産合計	578,092	615,456
資産合計	3,151,394	3,071,364
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,084	129,659
引当金	4,389	4,879
未払法人税等	94,596	34,836
その他	322,206	296,437
流動負債合計	479,276	465,812
固定負債		
引当金	120	51
退職給付に係る負債	23,955	23,381
その他	43,042	42,781
固定負債合計	67,119	66,214
負債合計	546,396	532,026
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	15,120	15,186
利益剰余金	2,646,967	2,603,110
自己株式	△271,033	△271,014
株主資本合計	2,401,119	2,357,348
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	30,415	33,529
為替換算調整勘定	172,226	147,375
その他の包括利益累計額合計	202,642	180,905
非支配株主持分	1,237	1,084
純資産合計	2,604,998	2,539,337
負債純資産合計	3,151,394	3,071,364

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	796,237	523,299
売上原価	324,204	205,366
売上総利益	472,033	317,932
販売費及び一般管理費	192,123	196,418
営業利益	279,910	121,513
営業外収益		
受取利息	23,456	30,846
持分法による投資利益	15,588	12,848
為替差益	57,773	—
その他	3,587	4,658
営業外収益合計	100,406	48,354
営業外費用		
為替差損	—	22,475
その他	308	292
営業外費用合計	308	22,767
経常利益	380,007	147,100
特別利益		
固定資産売却益	3	6
特別利益合計	3	6
特別損失		
固定資産処分損	31	42
特別損失合計	31	42
税金等調整前中間純利益	379,980	147,063
法人税等	108,732	38,393
中間純利益	271,247	108,670
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に 帰属する中間純損失(△)	△51	11
親会社株主に帰属する中間純利益	271,298	108,658

中間連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	271,247	108,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,011	3,142
為替換算調整勘定	63,806	△34,532
持分法適用会社に対する持分相当額	6,308	9,652
その他の包括利益合計	73,126	△21,736
中間包括利益	344,374	86,933
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	344,425	86,922
非支配株主に係る中間包括利益	△51	11

(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

従来、決算短信の「3. 補足情報」に記載していた情報につきましては、当社HPで公表している「2025年3月期 第2四半期 決算説明資料」に掲載しています。 (<https://www.nintendo.co.jp/ir/events/index.html>)